

## 確率・統計論

7

$X$  を平均 0 で分散が 1 の実数値確率変数とする. すなわち

$$E[X] = 0, \quad E[X^2] = 1$$

である. ただしここで, 確率変数  $f(X)$  ( $f: \mathbf{R} \rightarrow \mathbf{R}$ ) の期待値を  $E[f(X)]$  で表している. このとき, 以下の問いに答えよ.

(i)  $f, g: \mathbf{R} \rightarrow \mathbf{R}$  を連続で有界な関数とする. このとき

$$(E[f(X)g(X)])^2 \leq E[f(X)^2]E[g(X)^2]$$

が成り立つことを示せ.

(ii)  $k > 0$  に対して

$$P(|X| \geq k) \leq \frac{1}{k^2}$$

が成り立つことを示せ.

(iii)  $h: \mathbf{R} \rightarrow \mathbf{R}$  を 2 階連続微分可能な凸関数とする. このとき

$$E[h(X)] \geq h(0)$$

が成り立つことを示せ.

(ヒント: Taylor の公式より, 各  $x \in \mathbf{R}$  に対してある  $0 < \epsilon < 1$  が存在して

$$h(x) = h(0) + h'(0)x + \frac{1}{2}h''(\epsilon x)x^2$$

が成り立つことを用いよ.)

(iv) 特に,  $X$  を平均 0, 分散 1 の標準正規分布に従う確率変数とする. すなわち

$$P(a \leq X \leq b) = \int_a^b \frac{1}{\sqrt{2\pi}} e^{-x^2/2} dx$$

を  $-\infty < a \leq b < \infty$  に対して満たすものとする. このとき  $X$  のモーメント母関数  $M(t) := E[e^{tX}]$  ( $t \in \mathbf{R}$ ) を求めよ. また, モーメント母関数を用いて期待値  $E[X^3]$ ,  $E[X^4]$  を求めよ.